

新機能リサイクルボックスの性能

- 掲示スペースへリサイクルに繋がる分かりやすい表示が可能
- 色の工夫により、『ごみ箱』という認識を払拭
 - SDGs目標11「持続可能なまちづくり」「環境に与える影響を減らす」を訴求するオレンジ色
 - 業界統一で全国各地への導入の取組を推進している。
- 利用、運用面の配慮
 - 車椅子も近付き易い形状・高さ

2023年10月現在の新機能リサイクルボックスの設置数は約65,000基



■リサイクルボックス側ステッカー

掲示スペースにリサイクルボックスであることや、ピクトを用いた表示が可能

新機能リサイクルボックス導入で期待できる効果

- 異物混入の大幅な削減
 - 環境省の実証事業では、76%の自販機設置先で異物混入率が減少
 - 回収される飲料容器の品質向上 → 資源循環の高度化、カーボンニュートラル
- 利用者(消費者)の意識と行動変容を促す(下から投入&カップ等の入らない口径)
 - 投入口を近くからは見えない角度・高さにし、カップ等が入らないようにすることで、消費者の資源循環の意識醸成・行動変容につながる



新機能リサイクルボックス (NPX-100Z)